

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人
金沢大学附属病院長 富田 勝

金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	112人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	357人	118人	440.7人	看 護 補 助 者	64人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	17人	5人	21.0人	理 学 療 法 士	11人	臨 床 臨 床 検 査 技 師	51人
薬 剤 師	47人	3人	49.3人	作 業 療 法 士	6人	臨 床 衛 生 検 査 技 師	4人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	8人	そ の 他	0人
助 産 師	20人	0人	20.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	717人	11人	725.3人	臨 床 工 学 士	9人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	4人
准 看 護 師	2人	1人	2.7人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	12人
歯 科 衛 生 士	1人	0人	1.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	157人
管 理 栄 養 士	9人	0人	9.0人	診 療 放 射 線 技 師	36人	そ の 他 の 職 員	19人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たりの平均入院患者数	601.7人	5.1人	606.8人
1日当たりの平均外来患者数	1,506.4人	71.7人	1,578.1人
1日当たりの平均調剤数			1,238.1剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	72人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	64人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	86人	・原発性胆汁性肝硬変	101人
・全身性エリテマトーデス	285人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	64人
・再生不良性貧血	88人	・混合性結合組織病	38人
・サルコイドーシス	101人	・原発性免疫不全症候群	15人
・筋萎縮性側索硬化症	32人	・特発性間質性肺炎	17人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	488人	・網膜色素変性症	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	83人	・プリオン病	7人
・結節性動脈周囲炎	41人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	175人	・神経線維腫症	12人
・大動脈炎症候群	33人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	19人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	22人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・脊髄小脳変性症	41人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・クローン病	139人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	17人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患	127人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	14人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・後縦靭帯骨化症	107人	・肥大型心筋症	10人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	28人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	26人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症	33人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害	56人
		合計	2537人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11) 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	肝微小環境において炎症性発がんを制御するantago mirの標的創薬と前臨床試験	中本 安成	消化器内科	5,600,000 円	日本学術振興会
2	CXCR4/CXCL12とHB-EGFを標的とした胃癌標的治療法の開発	安本 和生	がん高度先進治療セン	1,000,000 円	日本学術振興会
3	NADPHオキシダーゼ阻害剤によるNASHの抗酸化療法の開発研究	宮本 謙一	薬剤部	700,000 円	日本学術振興会
4	臍帯血移植後の移植片対白血病効果誘導を目的とした腫瘍関連抗原ワクチン療法の開発	近藤 恭夫	高密度無菌治療部	900,000 円	日本学術振興会
5	急性腎障害に対する脂肪由来肝細胞による治療および網羅的バイオマーカーの開発	古市 賢吾	血液浄化療法部	1,200,000 円	日本学術振興会
6	TrkBのリン酸化;側坐核における薬物依存習慣化の分子スイッチの機序解明と治療法	戸田 重誠	神経科精神科	1,500,000 円	日本学術振興会
7	前立腺癌の増殖に関与するアンドロゲン応答性遺伝子の同定と増殖関連腫瘍マーカーの開発	溝上 敦	泌尿器科	1,600,000 円	日本学術振興会
8	免疫関連遺伝子多型解析に基づく最適な造血幹細胞移植ドナー選択法の確立	高見 昭良	輸血部	1,000,000 円	日本学術振興会
9	マイクロRNAによるテロメラーゼ制御機構の解明と子宮頸癌治療への応用	高倉 正博	産婦人科	700,000 円	日本学術振興会
10	肝細胞癌の Mesenchymal Transition 機序の解明	高村 博之	肝胆臓・移植外科	800,000 円	日本学術振興会
11	肝発生分化メカニズムに基づいた肝癌幹細胞特異的治療法の開発	山下 太郎	消化器内科	700,000 円	日本学術振興会
12	微小PNH型血球陽性骨髄不全診断システムの開発	山崎 宏人	血液内科	1,300,000 円	日本学術振興会
13	抗癌剤によるEBウイルス複製サイクル誘導を利用したあらたな上咽頭癌治療の開発	室野 重之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000 円	日本学術振興会
14	医師の態度と患者効用値に注目した糖尿病治療判断における行動科学的検討	小泉 順二	総合診療部	400,000 円	日本学術振興会
15	再燃前立腺癌におけるエストロゲン受容体を介したシグナル伝達機構の包括的解明	小中 弘之	泌尿器科	600,000 円	日本学術振興会
16	改良型キトサンナノ繊維管による胸腔内自律神経機能再生に関する実験的臨床的研究	松本 勲	呼吸器外科	400,000 円	日本学術振興会
17	3テスラ 1.5テスラ磁気共鳴装置による塞栓脳動脈瘤再破裂候検出法の研究	植田 文明	放射線科	1,000,000 円	日本学術振興会
18	ペプチドワクチンを用いた肝細胞癌免疫療法の開発	水腰 英四郎	消化器内科	1,700,000 円	日本学術振興会
19	小児血液腫瘍疾患に対する抗腫瘍効果のみを増強した新たな造血幹細胞移植療法の開発	西村 良成	小児科	600,000 円	日本学術振興会
20	手術ロボットを用い口腔内の一つの創のみからアプローチする頸部外科手術の基礎的研究	石川 紀彦	内分泌・総合外科	1,200,000 円	日本学術振興会
21	家族性高コレステロール血症の原因遺伝子別系統的病態解析	川尻 剛照	循環器内科	1,000,000 円	日本学術振興会
22	抗癌剤および血管新生阻害剤による口腔扁平上皮癌の浸潤・転移抑制効果	川尻 秀一	歯科口腔外科	700,000 円	日本学術振興会
23	極早期緑内障の網膜神経線維欠損の構造的および機能的解析による病態解明	大久保 真司	眼科	500,000 円	日本学術振興会
24	ステントグラフ内挿術後のエンドリクに対する脈派解析による無侵襲診断法の確立	大竹 裕志	心臓血管外科	1,200,000 円	日本学術振興会
25	虚血心筋障害、リモデリングにおける心筋間質の病態変化とその画像化に関する研究	瀧 淳一	核医学診療科	1,000,000 円	日本学術振興会
26	播種性血管内凝固における炎症と凝固の相互作用と血管作動性物質の関与	朝倉 英策	高密度無菌治療部	1,000,000 円	日本学術振興会
27	非侵襲的アプローチによるストレスモニタリングと児に優しい周産期医療に関する研究	長沖 周也	周産母子センター	1,100,000 円	日本学術振興会
28	強皮症の病態におけるICOSとICOSLの役割の解明と治療への展開	長谷川 稔	皮膚科	1,100,000 円	日本学術振興会
29	超高解像度光干渉断層計による緑内障関連動物モデルの視神経傷害の生体内定量的評価	東出 朋巳	眼科	1,000,000 円	日本学術振興会
30	自己炎症疾患における炎症制御機能解析法の開発; 家族性地中海熱をモデルとした研究	東馬 智子	小児科	1,300,000 円	日本学術振興会
31	胆汁酸受容体FXR阻害によるバレット食道腺癌の化学予防	藤村 隆	胃腸外科	1,300,000 円	日本学術振興会
32	肝動脈塞栓物質の動態解析: 静脈叢を介した門脈血流域の塞栓効果に関するインビボ解析	南 哲弥	放射線部	1,200,000 円	日本学術振興会
33	食道癌に対する低用量ドセタキセルとHDAC阻害薬併用化学放射線療法法の基礎的検討	二宮 致	胃腸外科	1,000,000 円	日本学術振興会
34	アディポネクチン・コーティングステントの開発とその血管内治療における有効性の検証	八木 邦公	内分泌・代謝内科	900,000 円	日本学術振興会
35	若年者の視神経乳頭解析と緑内障罹患率の調査研究	武田 久	眼科	500,000 円	日本学術振興会
36	腹膜播種発生に関わる腹膜中皮細胞の間葉系形質転換と造腫瘍性についての実験的検討	伏田 幸夫	胃腸外科	1,400,000 円	日本学術振興会
37	先天性徐脈発症機構の分子生物学的解明とこれに基づくバイオベースマーカー開発の研究	林 研至	検査部	1,400,000 円	日本学術振興会
38	原発性免疫不全症における復帰変異による体細胞モザイクの意義と分子生物学的基盤	和田 泰三	小児科	1,000,000 円	日本学術振興会
39	バイオアッセイモデルによる上咽頭癌リンパ節転移機構に関する研究	脇坂 尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000 円	日本学術振興会
40	胎盤関門のダイナミクスを制御するトランスポーター-エズリン複合体	崔 吉道	薬剤部	800,000 円	日本学術振興会

(様式第11) 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
41	光造形血管モデルを用いた大動脈ステントグラフト治療前シミュレーションに関する研究	眞田 順一郎	放射線部	500,000 円	日本学術振興会
42	地域医療における軽症糖尿病患者に対する在宅健康サービスの構築	米田 隆	内分泌・代謝内科	1,400,000 円	日本学術振興会
43	新規放射線増感剤による悪性神経内分泌腫瘍に対する内照射療法の効果増強	萱野 大樹	核医学診療科	950,000 円	日本学術振興会
44	上咽頭癌における細胞接着シグナリング機構の解明	遠藤 一平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000 円	文部科学省
45	口腔扁平上皮癌に対するAMPK活性化薬剤の増殖・浸潤・転移抑制効果の検討	加藤 広裕	歯科口腔外科	900,000 円	文部科学省
46	小児期星細胞腫の特徴および悪性化に関わる遺伝子異常に関する研究	喜多 大輔	脳神経外科	1,500,000 円	文部科学省
47	Maspin機能発現による口腔扁平上皮癌の浸潤・転移抑制効果の実験的研究	吉澤 邦夫	歯科口腔外科	800,000 円	文部科学省
48	舌がん癌幹細胞の頸部リンパ節転移機構への関与	近藤 悟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000 円	文部科学省
49	アディポネクチン遺伝子導入マクロファージによる糖尿病壊疽の細胞治療	窪田 美幸	内分泌・代謝内科	1,700,000 円	文部科学省
50	髄芽腫の分子遺伝学的解析と診断法の確立	見崎 孝一	脳神経外科	1,300,000 円	文部科学省
51	抗エリスロポエチン受容体抗体の同定とその臨床的意義	原 章規	救急部	900,000 円	文部科学省
52	樹状細胞免疫療法における細胞導入法に関する実験的研究:生体顕微鏡による動態解析	香田 渉	放射線科	900,000 円	文部科学省
53	前立腺癌の薬剤耐性(タキサン系)の機序についての研究	三輪 聡太郎	泌尿器科	1,100,000 円	文部科学省
54	心血管アルドステロンの合成制御機構の解明	出村 昌史	内分泌・代謝内科	900,000 円	文部科学省
55	ヒト生体試料のアミロイドβ蛋白オリゴマー形成への影響の解析	小野 賢二郎	神経内科	1,100,000 円	文部科学省
56	NFκB制御と抗EGFR抗体によるKRAS変異子宮内膜癌治療戦略に関する基礎研究	水本 泰成	産科婦人科	2,000,000 円	文部科学省
57	肝ステム細胞に関連した肝線維化進展機序の分子病理学的研究	池田 博子	病理部	2,000,000 円	文部科学省
58	子宮内膜癌幹細胞の同定と難治性癌治療法開発への応用	中村 充宏	産科婦人科	1,600,000 円	文部科学省
59	自閉症スペクトラム障害の視線認知に関わる大脳皮質反応の脳磁計による研究	中谷 英夫	神経科精神科	700,000 円	文部科学省
60	タンパク質品質管理機構の心不全病態形成への関与	薄井 莊一郎	循環器内科	1,600,000 円	文部科学省
61	下前頭回と上前頭回を連絡する白質神経線維に関する研究	木下 雅史	脳神経外科	2,400,000 円	文部科学省
62	口腔扁平上皮癌の浸潤・転移に対する血管新生阻害剤および線維芽細胞増殖抑制剤の効果	野口 夏代	歯科口腔外科	1,300,000 円	文部科学省
63	蛍光抗体を応用した骨軟部腫瘍の生体内イメージング	林 克洋	整形外科	700,000 円	文部科学省
64	肺線維化における制御性B細胞の役割の検討	濱口 儒人	皮膚科	2,300,000 円	文部科学省
65	皮膚虚血再灌流傷害マウスモデルを用いた褥瘡予防療法の検討	齋藤 佑希	皮膚科	1,800,000 円	文部科学省
66	我が国における中絶医療実態の調査研究	打出 喜義	産科婦人科	1,100,000 円	日本学術振興会
67	悪性胸膜中皮腫に対するmTORを標的とした分子標的治療の基礎的検討	田村 昌也	呼吸器外科	2,000,000 円	文部科学省
68	固形癌分子標的治療の早期客観的治療効果判定法の確立	小林 聡	放射線科	800,000 円	日本学術振興会
69	実験的緑内障濾過手術におけるハニカムフィルムの有用性	奥田 徹彦	眼科	1,800,000 円	文部科学省
70	乳癌に対するHDAC阻害剤を用いた治療の開発に向けた基礎・臨床研究	井口 雅史	乳腺科	700,000 円	日本学術振興会
71	腎障害・透析患者におけるリネプリド及び代謝物の血中濃度と血小板減少との関連の検討	伊藤 さつき	薬剤部	630,000 円	日本学術振興会
72	癌患者による即効性フェンタニル製剤の吸収過程・除痛効果に影響を及ぼす因子の解析	原 祐輔	薬剤部	570,000 円	日本学術振興会
73	治験実施時に発生した副作用に対する補償業務手順標準化の構築	横井 祐子	薬剤部	300,000 円	日本学術振興会
74	コンボリューション演算を応用した脳神経術中モニタリングにおける診断技術の研究	大江 宏康	検査部	500,000 円	日本学術振興会
75	自己血貯血の安全性向上を目的とした網状赤血球ヘモグロビン等量(RET-He)測定	柴山 正美	検査部	570,000 円	日本学術振興会
76	ITS-PCR法導入後のMRSA敗血症例における治療と予後に関する研究	千田 靖子	検査部	400,000 円	日本学術振興会
77	センチネルリンパ節シンチグラフィにおけるSPECT/CT画像のアーチファクト低減	米山 寛人	放射線部	350,000 円	日本学術振興会
78	北陸地区の血管造影およびCT検査における患者被ばく線量の調査	飯田 泰治	放射線部	540,000 円	日本学術振興会
79	肝がんの新規治療法に関する研究	中本 安成	消化器内科	7,000,000 円	厚生労働省
80	ウイルス性肝炎の病態に応じたウイルス側因子の解明と治療応用	中本 安成	消化器内科	2,700,000 円	厚生労働省

(様式第11) 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
81	ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	中本 安成	消化器内科	2,000,000 円	厚生労働省
82	肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究	中本 安成	消化器内科	4,000,000 円	厚生労働省
83	肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究	酒井 明人	光学医療診療部	1,500,000 円	厚生労働省
84	C型肝炎における新規治療法に関する研究	酒井 明人	光学医療診療部	1,500,000 円	厚生労働省
85	肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究	酒井 明人	光学医療診療部	1,500,000 円	厚生労働省
86	造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	高見 昭良	輸血部	1,000,000 円	厚生労働省
87	組織適合性に基づく非血縁同種造血幹細胞移植の成績向上に関する研究	高見 昭良	輸血部	1,000,000 円	厚生労働省
88	今後のたばこ対策の推進に関する研究	野村 英樹	総合診療部	700,000 円	厚生労働省
89	制御性B細胞の機能解析と自己免疫疾患の抑制機構	藤本 学	皮膚科	4,800,000 円	文部科学省
90	過栄養状態における肝臓機能の破綻と生活習慣病の研究	金子 周一	消化器内科	8,500,000 円	日本学術振興会
91	脳アミロイドアンギオパチー関連脳出血のリスク評価法および予防法の開発	山田 正仁	神経内科	1,400,000 円	日本学術振興会
92	自閉症関連障害のオキシトシン関連遺伝子cd38の変異とオキシトシン補充療法	三邊 義雄	神経科精神科	4,600,000 円	日本学術振興会
93	骨軟部悪性腫瘍の生体内蛍光イメージング - 原発巣から転移、治療まで	土屋 弘行	整形外科	1,700,000 円	日本学術振興会
94	前立腺癌再燃の分子機序解明とその治療戦略構築のための基礎的研究	並木 幹夫	泌尿器科	1,200,000 円	日本学術振興会
95	子宮内膜癌化モデルを駆使した内膜癌化機構の解明と新たな分子標的の探索	京 哲	産科婦人科	3,200,000 円	日本学術振興会
96	自己免疫性骨髄不全発症の引き金となる自己抗原の同定	中尾 眞二	血液内科	4,000,000 円	日本学術振興会
97	統合失調症の病態生理におけるカンナビノイドの重要性についての研究	橋本 隆紀	神経科精神科	1,200,000 円	日本学術振興会
98	ゲノム病としての男性不妊症の研究—ゲノム再組換えと精子タイピング—	高 榮哲	泌尿器科	3,600,000 円	日本学術振興会
99	難治性婦人科がんに対する腫瘍融解ウイルス治療法の開発	井上 正樹	産科婦人科	3,900,000 円	日本学術振興会
100	悪性神経内分分泌腫瘍に対する分子生物学的・組織学的特徴に基づいた集学的内照射療法	絹谷 清剛	核医学診療科	1,900,000 円	日本学術振興会
101	霊長類に特異的なニューロン新生と脳再生療法の研究開発	山嶋 哲盛	神経科精神科	5,100,000 円	日本学術振興会
102	口腔扁平上皮癌における浸潤・転移機序の解明	山本 悦秀	歯科口腔外科	9,100,000 円	日本学術振興会
103	生体内における化学療法・放射線療法による形態学的癌細胞死のリアルタイム画像検証	白井 寿治	整形外科	1,100,000 円	日本学術振興会
104	癌浸潤リンパ球と末梢血液細胞の包括的遺伝子発現解析による癌免疫動態の解明	酒井 佳夫	消化器内科	1,000,000 円	日本学術振興会
105	血管内皮前駆細胞選択的捕捉VEGF固定化ステントの開発に関する研究	山岸 正和	循環器内科	800,000 円	日本学術振興会
106	難治性慢性咳嗽の克服に向けて:咳嗽発症メカニズムの機序解明と治療法の開発	藤村 政樹	呼吸器内科	1,100,000 円	日本学術振興会
107	心腎連関機序・新規骨髄由来細胞の関与とその臨床評価システムの構築	和田 隆志	腎臓内科	1,100,000 円	日本学術振興会
108	インスリン抵抗性と血管合併症を形成する肝臓由来新規ホルモンの機能解析	壺 俊成	内分泌・代謝内科	1,200,000 円	日本学術振興会
109	免疫性皮膚疾患における制御性B細胞の役割とその分子メカニズム	藤本 学	皮膚科	1,100,000 円	日本学術振興会
110	自閉症スペクトラムの病態におけるGABA系の関与	菊知 充	神経科精神科	400,000 円	日本学術振興会
111	膝管癌のダイナミックCTによる濃染とVEGFの発現と病理組織学的特徴との相関	蒲田 敏文	放射線科	500,000 円	日本学術振興会
112	神経膠芽腫腫瘍幹細胞における遺伝子異常の時間的・空間的解析	林 裕	脳神経外科	900,000 円	日本学術振興会
113	サイトカイン吸着カラムを用いた血液浄化療法の可能性への追及	谷口 巧	集中治療部	1,100,000 円	日本学術振興会
114	顎骨形成術における骨および神経組織変化に関する実験的研究	中川 清昌	歯科口腔外科	500,000 円	日本学術振興会
115	小児救急医療におけるシミュレーション教育の効果の検証と遠隔教育への応用	太田 邦雄	小児科	1,100,000 円	日本学術振興会
116	早期治療介入のための新しいEBV関連リンパ増殖性疾患診断指標の確立	谷内江 昭宏	小児科	1,100,000 円	日本学術振興会
117	肝細胞癌多段階発癌の画像診断に関する臨床的・基礎的研究	松井 修	放射線科	1,100,000 円	日本学術振興会
118	疾患リスクを基盤とする心画像診断体系の構築に関する研究	中嶋 憲一	核医学診療科	1,300,000 円	日本学術振興会
119	がん間質の再構築誘導による新規難治がん治療法の開発	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	1,500,000 円	日本学術振興会
120	血栓溶解剤と血管拡張剤の大槽内注入による脳血管攣縮予防法と治療法	濱田 潤一郎	脳神経外科	1,200,000 円	日本学術振興会

(様式第11) 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
121	先天性難聴モデル動物における聴覚中枢の発達と可塑性について	伊藤 真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500,000 円	日本学術振興会
122	水疱性角膜症に対する新しい角膜内皮移植術(nDSA EK)の開発と包括的視機能解	小林 顕	眼科	1,700,000 円	日本学術振興会
123	眼圧の日内変動における交感神経系の役割	櫻井 真由美	眼科	1,600,000 円	日本学術振興会
124	緑内障性視神経障害進行の活動部位仮説の立証と乳頭出血、予後予測に関する研究	杉山 和久	眼科	1,800,000 円	日本学術振興会
125	PIG-A遺伝子変異をマーカーとしたヒト造血幹細胞動態の解明	中尾 眞二	血液内科	900,000 円	日本学術振興会
126	医療行為や食品等によるアルツハイマー病の伝播あるいは発症促進に関する研究	山田 正仁	神経内科	900,000 円	日本学術振興会
127	統合失調症の大脳皮質における機能的結合性についての総合的脳画像研究	橋本 隆紀	神経科精神科	1,900,000 円	日本学術振興会
128	尿メタボローム解析による、自閉症生物学的マーカーの探索	三邊 義雄	神経科精神科	1,800,000 円	日本学術振興会
129	グリオーマ幹細胞の浸潤関連分子の同定と機能解析	中田 光俊	脳神経外科	5,000,000 円	文部科学省
130	WAS腎症をモデルとしたIgA腎症の発症機構に関する分子免疫学的解析	清水 正樹	小児科	900,000 円	文部科学省
131	悪性胸膜中皮腫に対するmTORを標的とした分子標的治療の基礎的検討	田村 昌也	呼吸器外科	2,000,000 円	文部科学省
132	エピジェネティック変異による男性不妊症の戦略的研究	前田 雄司	泌尿器科	900,000 円	文部科学省
133	タンパク質品質管理機構の心不全病態形成への関与	薄井 莊一郎	循環器内科	1,600,000 円	文部科学省
134	聴覚中枢発達の解明	杉本 寿史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	950,000 円	日本学術振興会
135	Sclerodermatous GVHDマウスにおける制御性B細胞の役割	松下 貴史	皮膚科	1,230,000 円	日本学術振興会
136	統合失調症の前頭前野において障害されている介在ニューロン種とその機能変化の同定	橋本 隆紀	神経科精神科	900,000 円	日本学術振興会
137	上咽頭がんをはじめとするEBV関連腫瘍におけるSiah1の分子生物学的解析	古川 亘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,600,000 円	日本学術振興会
138	ウイルス性肝炎に対する分子標的治療創薬に関する研究	金子 周一	消化器内科	56,400,000 円	厚生労働省
139	アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	神経内科	50,000,000 円	厚生労働省
140	統合失調症の再発予防の確立に関する研究	三邊 義雄	神経科精神科	16,000,000 円	厚生労働省
141	小児反復性中耳炎に対する十全大補湯の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	8,400,000 円	厚生労働省
142	糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	和田 隆志	腎臓内科	11,000,000 円	厚生労働省
143	糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	篁 俊成	内分泌・代謝内科	500,000 円	厚生労働省
144	がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	金子 周一	消化器内科	500,000 円	厚生労働省
145	初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	金子 周一	消化器内科	200,000 円	厚生労働省
146	C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究	金子 周一	消化器内科	2,000,000 円	厚生労働省
147	幹細胞制御によるがん治療法開発のための基盤研究	金子 周一	消化器内科	7,000,000 円	厚生労働省
148	主にアジアに蔓延するウイルス性肝炎の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究	金子 周一	消化器内科	2,000,000 円	厚生労働省
149	ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	金子 周一	消化器内科	3,000,000 円	厚生労働省
150	肝がんの新規治療法に関する研究	金子 周一	消化器内科	8,000,000 円	厚生労働省
151	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究	篁 俊成	内分泌・代謝内科	1,500,000 円	厚生労働省
152	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	内分泌・代謝内科	1,000,000 円	厚生労働省
153	再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	厚生労働省
154	多施設共同医師主導治験による新規医薬品の効果に関する臨床的エビデンス創出と新移植技術の開発研究	中尾 眞二	血液内科	4,000,000 円	厚生労働省
155	同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成	中尾 眞二	血液内科	500,000 円	厚生労働省
156	先天性角化不全症の効果的診断方法の確立と治療ガイドラインの作成に関する研究	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	厚生労働省
157	特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	血液内科	2,000,000 円	厚生労働省
158	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	神経内科	500,000 円	厚生労働省
159	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	神経内科	3,000,000 円	厚生労働省
160	J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	山田 正仁	神経内科	1,500,000 円	厚生労働省

(様式第11) 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
161	治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	三邊 義雄	神経科精神科	1,500,000 円	補委 厚生労働省
162	治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	三邊 義雄	神経科精神科	600,000 円	補委 厚生労働省
163	原発性免疫不全症候群に関する調査研究	谷内江昭宏	小児科	2,000,000 円	補委 厚生労働省
164	インターロイキン1受容体関連キナーゼ4 (IRAK4)欠損症の全国症例数把握及び早期診断スクリーニング・治療	谷内江昭宏	小児科	1,500,000 円	補委 厚生労働省
165	家族性地中海熱の病態解明と治療指針の確立	谷内江昭宏	小児科	1,000,000 円	補委 厚生労働省
166	Bloom症候群とその類縁疾患の実態調査、早期診断法の確立に関する研究	谷内江昭宏	小児科	1,500,000 円	補委 厚生労働省
167	肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	松井 修	放射線科	3,500,000 円	補委 厚生労働省
168	強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	藤本 学	皮膚科	1,700,000 円	補委 厚生労働省
169	初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	200,000 円	補委 厚生労働省
170	難知性膝疾患に関する調査研究	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	800,000 円	補委 厚生労働省
171	脊柱靭帯骨化症に関する研究	土屋 弘行	整形外科	1,000,000 円	補委 厚生労働省
172	Fuchs角膜内皮変性関連疾患に関する調査研究	杉山 和久	眼科	1,000,000 円	補委 厚生労働省
173	センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別的治療法の開発	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000 円	補委 厚生労働省
174	戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)	和田 隆志	腎臓内科	1,000,000 円	補委 厚生労働省
175	難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	腎臓内科	990,000 円	補委 厚生労働省
176	骨髄および脂肪由来細胞を用いた次世代型肝臓再生・修復(抗線維化)療法の開発研究	酒井 佳夫	消化器内科	2,500,000 円	補委 厚生労働省
177	特発性心筋症に関する調査研究	山岸 正和	循環器内科	1,100,000 円	補委 厚生労働省
178	統合失調症の大脳皮質におけるパルプアルブミン陽性ニューロン障害の分子メカニズム	橋本隆紀	神経科精神科	1,000,000 円	補委 先進医薬研究振興財団
179	線条体ドーパミンD2受容体陽性細胞に発現するL型カルシウムチャネルを標的とした薬物依存治療の試み	戸田重誠	神経科精神科	3,000,000 円	補委 武田科学振興財団
180	慢性ストレスのドーパミン系への関与と抗うつ薬の効果	廣澤 徹	神経科精神科	200,000 円	補委 井之頭病院研究助成金
181	実験動物を用いた慢性ストレスによるうつ病発症メカニズムの研究;側坐核における脳由来神経栄養因子受容体の関与についての検討	廣澤 徹	神経科精神科	500,000 円	補委 公益信託松原三郎記念精神医学部
182	固形がんにおけるがん性幹細胞の役割の究明とがん性幹細胞を標的とした治療法開発に関する研究	京 哲	産科婦人科	1,000,000 円	補委 厚生労働省がん研究助成金
183	良性卵巣腫瘍を対象としたtransvaginal NOTESの臨床応用	田中 政彰	周産母子センター	1,000,000 円	補委 NOTES研究会研究助成金
184	軟性内視鏡を用いたTransvaginal NOTES子宮付属器摘出術の臨床応用	田中 政彰	周産母子センター	500,000 円	補委 内視鏡医学研究振興財団
185	ほくろく健康創造クラスター:脳老化・認知障害の早期診断・経時的評価のための総合システムの開発	山田 正仁	神経内科	26,636,000 円	補委 文部科学省
186	家族性除脈性不整脈発症メカニズムの解明と心筋前駆細胞を用いた画期的療法の開発に関する研究	林 研至	検査部	3,000,000 円	補委 武田科学振興財団
187	EBウイルス感染におけるリンパ球免疫応答とリンパ増殖性疾患の病態に関する研究	和田 泰三	小児科	3,000,000 円	補委 武田科学振興財団
188	肝がんの経カテーテル的硬化療法に関する研究	松井 修	放射線科	1,000,000 円	補委 国立がん研究センター
189	画像による肝細胞癌の血行動態解析に基づいた治療法の開発研究	松井 修	放射線科	1,000,000 円	補委 国立がん研究センター
190	生体侵襲時におけるヘムオキシゲナーゼ-1を介する血栓形成制御機構の解明	森下英理子	血液内科	1,180,000 円	補委 三谷研究開発支援財団
191	医工融合による動脈硬化の診断と治療の先導的研究	渡邊 剛	心臓血管外科	8,181,000 円	補委 財団法人北陸産業活性化センター
192	急性膵炎の重症化におけるトリプシンを介したアンギオテンシンII産生系の役割	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	800,000 円	補委 厚生労働省
193	早期胃癌に対する低侵襲かつ機能を温存した治療手術の開発	藤村 隆	胃腸外科	1,500,000 円	補委 北國がん基金
194	難治性疾患克服研究事業 Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究	杉山 和久	眼科	1,000,000 円	補委 厚生労働省
195	網膜神経線維層欠損の構造的および機能的解析による視神経乳頭出血発症機序の解明	大久保 真司	眼科	1,000,000 円	補委 公益信託須田記念緑内障治療研究奨励基金
196	血管新生線内障に対する術前ベパシズマブ硝子体内投与による線維柱帯切除術後の濾過泡への形態学的影響の解明	齋藤 代志明	眼科	960,000 円	補委 公益信託今井記念緑内障研究助成基金
197	非対象ナノハニカム構造を持つ高機能遮着防止膜とその自己組織化製造プロセスの開発	杉山 和久	眼科	1,540,000 円	補委 NEDO共同研究機関 帝人株式会社
198	進行頭頸部癌に対する漢方治療の有用性評価	古川 初	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	8,000,000 円	補委 厚生労働省

(注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題	発表者氏名	所属部門
1	Genomics (2010/4)	Comprehensive gene expression analysis of 5'-end of mRNA identified novel intronic transcripts associated with hepatocellular carcinoma (肝細胞癌における包括的遺伝子5'末端写物発現解析による)	Yuji Hodo	消化器内科
2	Int J Cancer (2010/5)	Enhancement of tumor-specific T-cell responses by transcatheter arterial embolization with dendritic cell infusion for hepatocellular carcinoma	Eishiro Mizukoshi	消化器内科
3	J Infect Dis. (2010/7)	La Protein Required for Internal Ribosome Entry Site-Directed Translation Is a Potential Therapeutic Target for Hepatitis C Virus Replication	Takayoshi Shirasaki	消化器内科
4	Hum Pathol (2010/5)	Fibrocytes are involved in the pathogenesis of human chronic kidney disease	Sakai N	腎臓内科
5	Cancer Res. (2010/6)	Oncostatin M renders epithelial cell adhesion molecule-positive liver cancer stem cells sensitive to 5-Fluorouracil by inducing hepatocytic	Taro Yamashita	消化器内科
6	J Immunol (2010/9)	CCR6 Marks Regulatory T Cells as a Colon-Tropic, IL-10-Producing Phenotype.	Kazuya Kitamura	消化器内科
7	Hepatology Res. (2010/11)	Efficacy and safety of double filtration plasmapheresis in combination with interferon therapy for chronic hepatitis C.	Shuichi Kaneko	消化器内科
8	Cell Metab (2010/11)	A liver-derived secretory protein, selenoprotein P, causes insulin resistance	Misu H	内分泌・代謝内科
9	Auton Neurosci. (2010/12)	Effect of pioglitazone on muscle sympathetic nerve activity in type 2 diabetes mellitus with alpha-glucosidase inhibitor. (α グルコシダーゼ阻害薬を投与されている2型糖尿病患者において、ピオグリタゾンが交感神経活動に及ぼす影響)	Daisuke Kobayashi	循環器内科
10	Biochem Biophys Res Commun.	Differential gene expression profiling in blood from patients with digestive system cancers	Masao Honda	消化器内科
11	J Hepatol. (2010/11)	Differential interferon signaling in liver lobule and portal area cells under treatment for chronic	Masao Honda	消化器内科
12	J Gene Med (2010/12)	Prevention of intrahepatic metastasis of liver cancer by suicide gene therapy and chemokine ligand 2/monocyte chemoattractant protein-1 delivery in	Kaheita Kakinoki	消化器内科
13	Clin. Exp. Immunol. (2010/7)	Prolonged recurrence-free survival following OK432-stimulated dendritic cell transfer into hepatocellular carcinoma during transarterial	Nakamoto Y	消化器内科
14	Gastroenterology (2010/8)	Hepatic ISG Expression Is Associated With Genetic Variation in Interleukin 28B and the Outcome of IFN Therapy for Chronic Hepatitis C	MASAO HONDA	消化器内科
15	International Journal of Cancer	Identification of a secretory protein c19orf10 activated in hepatocellular carcinoma	Hajime Sunagozaka	消化器内科
16	Journal of Virology (2011/4)	Reproduction in vitro of a quasispecies from a hepatitis C virus-infected patient and determination of factors that influence selection of a dominant	Kazunori Kawaguchi	消化器内科
17	Nephrol Dial Transplant (2011/3)	Matrix metalloproteinase-2 (MMP-2) and membrane-type 1 MMP (MT1-MMP) affect the remodeling of glomerulosclerosis in diabetic OLETF	Kengo Furuic	腎臓内科
18	Pulm Pharmacol Ther 23(1):55-61 (2010.02)	Effects of macrolides on antigen-induced increases in cough reflex sensitivity in guinea pigs.	徳田 麗	呼吸器内科
19	Eur Respir J. 36(2):459-60 (2010.08)	Do beta(2)-agonists inhibit capsaicin-induced cough?	大倉徳幸	呼吸器内科
20	Exp Lung Res 37(2):101-8 (2011.03)	The specific chymase inhibitor TY-51469 suppresses the accumulation of neutrophils in the lung and reduces silica-induced pulmonary fibrosis in	高戸葉月	呼吸器内科
21	Bone Marrow Transplant.(2011.02)	A single-nucleotide polymorphism of the Fcgamma receptor type IIIA gene in the recipient predicts transplant outcomes after HLA fully matched unrelated BMT for myeloid malignancies	高見昭良	血液内科
22	Int J Hematol. 91(5):903-906 (2010.06)	Ischemic heart disease associated with bortezomib treatment combined with dexamethasone in a patient with multiple myeloma.	高松博幸	血液内科
23	Eur J Haematol. 86(6):541-545 (2011.01)	Aplastic anemia successfully treated with rituximab: the possible role of aplastic anemia-associated autoantibodies as a marker for response.	高松博幸	血液内科
24	Blood. 24;117(8):2358-65. (2011.02)	Randomized study of induction therapy comparing standard-dose idarubicin with high-dose daunorubicin in adult patients with previously untreated acute myeloid leukemia: the IALSG	大竹茂樹	血液内科
25	Biol Blood Marrow Transplant 17(2):205-13 (2011.02)	Mycophenolic acid inhibits natural killer cell proliferation and cytotoxic function: a possible disadvantage of including mycophenolate mofetil in the graft-versus-host disease prophylaxis regimen.	大畑欣也	血液内科
26	Biochimica et Biophysica Acta (平成22年4月)	Critical role of interfaces and agitation on the nucleation of A β amyloid fibrils at low concentrations of A β monomers.	森永章義	神経内科
27	European Journal of Neuroscience (平成22年4月)	In vitro differentiation of lineage-negative bone marrow cells into microglia-like cells.	能登大介	神経内科
28	Internal Medicine (平成22年5月)	Multiple Cranial Nerve Enhancement on MRI in Primary Sjögren's Syndrome.	坂井健二	神経内科
29	European Journal of Neurology	Clinical features of non-hypertensive lobar intracerebral hemorrhage related to cerebral amyloid	廣畑美枝	神経内科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題	発表者氏名	所属部門
30	Internal Medicine (平成22年6月)	Familial ALS with G298S Mutation in TARDBP: A Comparison of CSF Tau Protein Levels with those in Sporadic ALS.	野崎一朗	神経内科
31	Internal Medicine (平成22年6月)	Progression of cerebrovascular lesions in pneumococcal meningitis.	坂井健二	神経内科
32	Journal of Neurology (平成22年7月)	Charcot-Marie-Tooth disease type 2D with a novel glycyl-tRNA synthetase gene (GARS) mutation.	浜口歩	神経内科
33	Muscle and Nerve (平成22年7月)	Polyneuropathy caused by cobalt-chromium metallosis after total hip replacement.	池田篤平	神経内科
34	Journal of Neuroimmunology	Up-regulation of MHC class I and class II in the skeletal muscles of myasthenia gravis.	岩佐和夫	神経内科
35	Journal of Alzheimer's Disease	Cerebrospinal Fluid from Alzheimer's disease patients promotes amyloid β -protein	池田篤平	神経内科
36	CNS Neuroscience & Therapeutics (平成22年10月)	Curcumin and Alzheimer's Disease.	浜口毅	神経内科
37	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders (平成22年10月)	A Comparison of the Diagnostic Sensitivity of MRI, CBF-SPECT, FDG-PET and Cerebrospinal Fluid Biomarkers for Detecting Alzheimer's Disease in a	森永章義	神経内科
38	Brain (平成22年10月)	Prospective 10-year surveillance of human prion diseases in Japan.	野崎一朗	神経内科
39	Internal Medicine (平成22年12月)	Multiple Skull Metastases from Hepatocellular Carcinoma Successfully Treated with Radiotherapy	野崎一朗	神経内科
40	Clinical Neurology and Neurosurgery (平成23年1月)	Acute disseminated encephalomyelitis with medial temporal lesions mimicking acute limbic encephalitis.	坂井健二	神経内科
41	Muscle and Nerve (平成23年1月)	Reply.	池田篤平	神経内科
42	European Journal of Neurology	Neuromyelitis optica after Japanese encephalitis vaccination.	古川裕	神経内科
43	Neuropathology (平成23年2月)	Early-stage progressive supranuclear palsy with degenerative lesions confined to the subthalamic nucleus and substantia nigra	坂井健二	神経内科
44	Neuroscience Letters (平成23年3月)	Cerebrospinal fluid from patients with multiple system atrophy promotes in vitro α -synuclein fibril formation.	廣畑美枝	神経内科
45	Journal of Neurological Science (平成23年3月)	Cervical pachymeningeal hypertrophy as the initial and cardinal manifestation of mucopolysaccharidosis type I in monozygotic twins with a novel mutation in the alpha-1-iduronidase gene. 302:121-125, 2011	古川裕	神経内科
46	Internal Medicine (平成23年3月)	Fisher syndrome associated with immune thrombocytopenic purpura. 50:631-633, 2011.	古川裕	神経内科
47	Cerebral Cortex Epub ahead of print, 2010	Lamina-specific Alterations in Cortical GABAA Receptor Subunit Expression in Schizophrenia	橋本隆紀	神経科精神科
48	Neurotox Res 18(3-4),410-415, 2010.11	Inhibition of actin polymerization prevents cocaine-induced changes in spine morphology in the nucleus accumbens	戸田重誠	神経科精神科
49	Journal of Neuroendocrinology 22:373-379,	Oxytocin signal and social behavior: comparison among adult and infant oxytocin, oxytocin receptor and CD38 gene knockout mice	菊知 充	神経科精神科
50	Neuroreport, 21:1106-1110, 2010.12	Nurovascular coupling in the human somatosensory cortex: a single trial study	菊知 充	神経科精神科
51	NeuroImage, 50:1357-1363, 2010.5	Smaller insula and inferior frontal volumes in young adults with pervasive developmental disorders	菊知 充	神経科精神科
52	NeuroImage, 51:173-82, 2010.5	Antipsychotics reverse abnormal EEG complexity in drug-naive schizophrenia: A multiscale entropy analysis.	菊知 充	神経科精神科
53	Clin Neurophysiol 121(9):1438-46, 2010.9	Assessment of EEG dynamical complexity in Alzheimer's disease using multiscale entropy	菊知 充	神経科精神科
54	Biosci Trends, 4(3):119-29 2010.6	Bone marrow-derived stromal cells can express neuronal markers by DHA/GPR40 signaling	菊知 充	神経科精神科
55	Neurosci Res 68:94-102, 2010.10	Differential expression of FABP 3, 5, 7 in infantile and adult monkey cerebellum	菊知 充	神経科精神科
56	International Journal of Comparative Psychology 23, 121-144, 2010.5	Learning about absent outcome in the presence of conditioned excitator and inhibitor: A conditioned flavor preference study	井口善生	神経科精神科
57	The Journal of Infectious Disease (2010.6)	Clinical significance of cloned expansion and CD5 down-regulation in Epstein-Barr virus (EBV) infected CD8+ T lymphocytes in EBV-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis	Toga A	小児科
58	Rheumatology (Oxford) (2010.9)	Distinct cytokine profiles of systemic-onset juvenile idiopathic arthritis-associated macrophage activation syndrome with particular emphasis on the role of interleukin-18 in its pathogenesis	Shimizu M	小児科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題	発表者氏名	所属部門
59	Rheumatology (Oxford) 2010.11	Colchicine-responsive chronic recurrent multifocal osteomyelitis with MEFV mutations: a variant of familial Mediterranean fever?	Shimizu M	小児科
60	Journal of pediatric hematology/oncology. (2011.1)	Human heme oxygenase-1 deficiency presenting with hemolysis, nephritis, and asplenia.	Wada T, Yachie A.	小児科
61	Clinical Immunology. (2011.2)	Analysis of mutations and recombination activity in RAG-deficient patients.	Asai E	小児科
62	Abdom Imaging. 2011 Jan 26. [Epub ahead of print]	1. Hepatoceular nodules in liver cirrhosis: hemodynamic evaluation (angiography-assisted CT) with special reference to multi-step	Matsui O	放射線科
63	Lab Invest. 2011;91(2):262-72.	2. Epidermal growth factor induces cytokeatin 19 expression accompanied by increased growth abilities in human hepatocellular carcinoma.	Matsui O	放射線科
64	Radiology. 2010;257(3):705-14.	3. Selective atrophy of the middle hepatic venous drainage area in hepatitis C-related cirrhotic liver: morphometric study by using multidetector CT.	Matsui O	放射線科
65	Radiology. 2010;256(3):817-26.	4. Hepatoceular carcinoma: signal intensity at gadoxetic acid-enhanced MR Imaging—correlation with molecular transporters and histopathologic	Matsui O	放射線科
66	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2010;17(4):407-9.	5. Interventional oncology: new options for interstitial treatments and intravascular approaches: superselective TACE using iodized oil for HCC: rationale, technique and outcome.	Matsui O	放射線科
67	Artif Organs. (Jun;34(6):516-8)	Robotic skeletonized internal thoracic artery harvesting: the sliding fascia technique.	Ishikawa N, Watanabe G, Tomita S.	内分泌・総合外科
68	Interact Cardiovasc Thorac Surg. (Apr;10(4):498-501)	Repair of intra-thoracic autonomic nerves using chitosan tubes.	Matsumoto I, Oda M, Watanabe G	呼吸器外科
69	Surg Endosc (Apr;24:965-967)	Thoracoscopic robot-assisted extended thymectomy in the human cadaver.	Ishikawa N, Oda M, Watanabe G	内分泌・総合外科
70	Ann Thorac Surg. (Nov;90(5):1721-3)	T-graft technique under antegrade cerebral perfusion for aortic arch aneurysm	Ohtake H, Kimura K, Watanabe G	心臓血管外科
71	J Vasc Surg (Dec;52(6):1464-70)	Risk factor analysis of thoracic endovascular repair using the Matsui-Kitamura stent graft for acute aortic emergencies in the descending thoracic aorta.	Ohtake H, Kimura K, Watanabe G	心臓血管外科
72	Int J Oncol. (2010.10)	Angiotensin II induces tumor progression and fibrosis in intrahepatic cholangiocarcinoma through an interaction with hepatic stellate cells	Okamoto K	胃腸外科
73	Hepato-Gastroenterology (2010.11)	Neoadjuvant chemotherapy combining docetaxel, cisplatin and S-1 in gastric cancer with para-aortic lymph node metastases: Report of five	Fushida S	胃腸外科
74	Oncol Rep. (2010.12)	Evaluation of immune response according to the metastatic status in the regional lymph nodes in patients with gastric carcinoma.	Nakamura K	胃腸外科
75	J Orthop Sci (2010年9月)	Pedicle frozen autograft reconstruction in malignant bone tumors.	土屋 弘行	整形外科
76	J Neurosurg Spine (2010年10月)	Total en bloc spondylectomy for lung cancer metastasis to the spine	村上 英樹	脊椎脊髄外科
77	Spine(2010年10月)	Does interruption of the artery of Adamkiewicz during total en bloc spondylectomy affect neurologic	村上 英樹	脊椎脊髄外科
78	J Orthopaedic Surg (2010年12月)	Arthroscopic resection of a bucket handle tear of the meniscus: a technical note	中瀬 順介	整形外科
79	J Orthop Sci (2010年5月)	Surgical management of aggressive vertebral hemangiomas causing spinal cord compression: long-term clinical follow-up of five cases	加藤 仁志	脊椎脊髄外科
80	Orthopedics (2010年6月)	Multi-level total en bloc spondylectomy for solitary lumbar metastasis of myxoid liposarcoma: a case report and a review of the literature	加藤 仁志	脊椎脊髄外科
81	J Neurosurg Spine (2010年11月)	Venous thromboembolism after spine surgery: changes of the fibrin monomer complex and D-dimer level during the perioperative period	吉岡 克人	脊椎脊髄外科
82	Lasers in Medical Science (2010年7月)	Activation of the extracellular signal-regulated kinase (ERK) signal pathway by Light Emitting Diode (LED) irradiation	小峰 伸彦	整形外科
83	Anticancer Res (2010年9月)	Desmoplastic small round cell tumour successfully treated with caffeine-assisted chemotherapy: a case report and review of the literature	三輪 真嗣	整形外科
84	整形・災害外科 (2010年9月)	感染症根絶に向けたチタン表面コード担持技術の開発	土屋 弘行	整形外科
85	日本医事新報 (2010年8月)	液体窒素による凍結腫瘍骨移植術	土屋 弘行	整形外科
86	整形・災害外科 (2010年12月)	抗凝固薬あるいは抗血小板薬内服患者に対する患肢切断術 -血管閉塞装置であるLigaSure AtlasTMを用いた出血対策-	山本 憲男	整形外科
87	整形外科 (2010年7月)	【骨・軟部腫瘍 先端的研究と臨床の現況】治療 手術的治療 悪性骨腫瘍の手術 液体窒素処理自家	西田 英司	整形外科
88	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (2010年5月)	悪性骨軟部腫瘍に対する樹状細胞を用いた免疫療法を試み 臨床応用のための安全性・有効性試験	西田 英司	整形外科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題	命	発表者氏名	所属部門
89	整形外科 (2010年7月)	【骨・軟部腫瘍 先端的研究と臨床の現況】骨・人工関節コンポジット移植の治療成績		林 克洋	整形外科
90	臨床整形外科 (2010年12月)	転移リアルタイムイメージング		林 克洋	整形外科
91	整形・災害外科 (2010年11月)	大腿骨近位悪性骨腫瘍に対する有蓋液体窒素処理骨と人工骨頭を併用した再建術の検討		三輪 真嗣	整形外科
92	中部日本整形災害外科雑誌 (2010年7月)	小児上腕骨頭上骨折手術症例の検討		渡邊 孝治	整形外科
93	整形・災害外科 (2010年11月)	骨腫瘍切除後の骨欠損に対する骨延長術による再建法の長期機能成績		渡邊 孝治	整形外科
94	整形・災害外科 (2010年12月)	小児上腕骨頭上骨折の手術例の治療成績と合併症		渡邊 孝治	整形外科
95	リウマチ科 (2010年5月)	脊椎破壊性病変の鑑別疾患		富田 勝郎	整形外科
96	脊椎脊髄ジャーナル (2010年4月)	核医学検査(骨シンチグラフィ)		村上 英樹	脊椎脊髄外科
97	Journal of Spine Research 1 (2010年11月)	胸椎をメインカーブとした特発性側彎症術後の矢状面アライメントの検討		出村 諭	脊椎脊髄外科
98	J Spine Res 1 (2010年7月)	腰椎神経根症による間欠跛行患者の歩行特性—工学系モーシオン解析法による評価—		林 寛之	脊椎脊髄外科
99	臨床整形外科 (2010年11月)	髄内腫瘍が疑われた脊髄梗塞の1例		黒田 一成	整形外科
100	日本人工関節学会誌 (2010年12月)	人工股関節置換術後の静脈血栓予防におけるXa凝固因子阻害剤の効果 有効性と安全性および血栓発生の危険因子について		多賀 正	整形外科
101	整形外科 (2010年9月)	足関節脱臼骨折を契機に進行した糖尿病性Charcot関節の1例		岩井 信太郎	整形外科
102	臨床整形外科 (2010年12月)	全脊柱に波及した脊椎硬膜外膿瘍の1例		岩井 信太郎	整形外科
103	中部整災誌 (2010年3月)	ビスフォスフォネート長期投与中に生じた大腿骨骨幹部脆弱性骨折の3例		黒田 一成	整形外科
104	臨床スポーツ医学 (2010年10月)	ジャンパー膝の病態—ウサギを用いた実験的研究—		中瀬 順介	整形外科
105	骨折 (2010年9月)	術中CT撮影を用いた骨折手術の経験		中瀬 順介	整形外科
106	日本人工関節学会誌 (2010年12月)	NexGen CRA型人工膝関節の中長期成績		五嶋 謙一	整形外科
107	日本臨床スポーツ医学会誌	学生相撲におけるACL受傷メカニズムの検討		五嶋 謙一	整形外科
108	日本整形外科スポーツ医学会誌 (2010年4月)	ACL損傷における家族内発症例の検討		五嶋 謙一	整形外科
109	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (2010年11月)	変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術の小経験		五嶋 謙一	整形外科
110	日本人工関節学会誌 (2010年12月)	人工膝関節置換術後疼痛に対する大腿神経ブロックの有効性		高橋 竜平	整形外科
111	中部整災誌 (2010年11月)	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の手術成績		高橋 竜平	整形外科
112	末梢神経 (2010年6月)	末梢神経欠損に対するtubulizationの歴史と展望		多田 薫	整形外科
113	整形・災害外科 (2010年5月)	リハビリテーションで遭遇する難治性疼痛に対するカルシトニン製剤(エルカトニン)の臨床応用		八幡 徹太郎	整形外科
114	Acuta Ophthalmologica 2010年1月	Beneficial effects of preoperative intravitreal bevacizumab on trabeculectomy outcomes in		齋藤代志明	眼科
115	Journal of Glaucoma 2010年6月(Epub ahead of print)	Does the enlargement of retinal nerve fiber layer defects relate to disc hemorrhage or progressive visual field loss in normal-tension glaucoma?		杉山 和久	眼科
116	Ophthalmology 2010年12月	Association between genetic polymorphisms of adrenergic receptor and diurnal intraocular pressure in Japanese normal-tension glaucoma		杉山 和久	眼科
117	Acta Otolaryngol (2010)	Retrograde Mastoidectomy on Demand with Soft-Wall Reconstruction in Pediatric Cholesteatoma.		伊藤真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
118	Inter J Pediat Otolaryngol (2010)	Clonal Spread of β -lactamase-producing, amoxicillin-clavulanate-resistant (BLPACR) Strains of Haemophilus influenzae among Young Children Attending Day Care in Japan.		伊藤真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
119	耳鼻咽喉科臨床 (2010)	鼓室形成術におけるRetrograde Mastoidectomy on Demandの考え方		伊藤真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
120	耳鼻と臨床 (2010)	EBウイルスに着目した上咽頭癌の診断と治療		室野重之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
121	J Nucl Cardiol 2011;18:82-9	Semi-automated algorithm for calculating heart-to-mediastinum ratio in cardiac Iodine123 MIBG		奥田光一 中嶋憲一	核医学診療科
122	J Nucl Med 2010;51:1116-22	Dynamic expression of tenascin-c after myocardial ischemia and reperfusion:Assessment by 125i-anti-tenascin-c antibody imaging		瀧 淳一 稲木古吏 若林大志	核医学診療科
123	Circ J 2010;74:1916-21	Prognostic value of normal stress myocardial perfusion imaging and ventricular function in Japanese asymptomatic patients with type 2 diabetes: a study based on the I-ACCESS-2		松尾信郎 中嶋憲一	核医学診療科
124	Ann Nucl Med 2010; 24:125-135	Normal values for nuclear cardiology: Japanese databases for myocardial perfusion, fatty acid and sympathetic imaging and left ventricular function		中嶋憲一	核医学診療科
125	Clin Exp Nephrol. 14:411-417, 2010	Involvement of CD11b+ GR-1low cells in autoimmune disorder in MRL-Faspr mouse		Wada T(14番目), et al.	検査部

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題	命	発表者氏名	所属部門
126	Human Pathol. 41:672-678, 2010	Fibrocytes are involved in the pathogenesis of human chronic kidney disease		Wada T(14番目), et al.	検査部
127	Clin Exp Nephrol. 14:144-151, 2010	Design and methods of a strategic outcome study for chronic kidney disease: Frontier of Renal Outcome Modifications in Japan.		Wada T(13番目), et al.	検査部
128	Mod Rheumatol. 20:506-510, 2010	A case of neurosarcoidosis with necrotizing granuloma expressing angiotensin-converting		Wada T(11番目), et al.	検査部
129	J Gene Med. 12:1002-1013, 2010	Prevention of intrahepatic metastasis of liver cancer by suicide gene therapy and chemokine ligand 2/monocyte chemoattractant protein-1 delivery in		Sakai Y(5番目), et al.	検査部
130	J Hepatol. 53:817-826, 2010	Differential interferon signaling in liver lobule and portal area cells under treatment for chronic		Sakai Y(11番目), et al.	検査部
131	Biochem Biophys Res Commun.	Differential gene expression profiling in blood from patients with digestive system cancers.		Sakai Y(2番目), et al.	検査部
132	J Infect Dis. 202:75-85, 2010	La protein required for internal ribosome entry site-directed translation is a potential therapeutic target for hepatitis C virus replication.		Sakai Y(6番目), et al.	検査部
133	Gastroenterology. 139:499-509, 2010	Hepatic ISG expression is associated with genetic variation in interleukin 28B and the outcome of IFN therapy for chronic hepatitis C.		Sakai Y(6番目), et al.	検査部
134	Heart Rhythm. 7:973-980, 2010	Trafficking-competent KCNQ1 variably influences the function of HERG long QT alleles.		Hayashi K(1番目), et al.	検査部
135	Int Heart J. 51:214-217, 2010	Heterogeneity of clinical manifestation of hypertrophic cardiomyopathy caused by deletion of lysine 183 in cardiac troponin I gene.		Hayashi K(4番目), et al.	検査部
136	Circ J. 74:2674-2680, 2010	Impact of renin-angiotensin system polymorphisms on development of systolic dysfunction in hypertrophic cardiomyopathy. Evidence from a study of genotyped patients.		Hayashi K(7番目), et al.	検査部
137	J Mol Cell Cardiol. 50:50-57, 2011	A KCR1 variant implicated in susceptibility to the long QT syndrome.		Hayashi K(1番目), et al.	検査部
138	J Cardiol. 57:89-94, 2011	Impact of reduced left atrial functions on diagnosis of paroxysmal atrial fibrillation: results from analysis of time-left atrial volume curve determined by two-dimensional speckle-tracking		Mori M(1番目), et al.	検査部
139	Atherosclerosis. 214:404-407, 2011	Molecular genetic epidemiology of homozygous familial hypercholesterolemia in the Hokuriku district		Mori M(8番目), et al.	検査部
140	Hum. Pathol. (2010 Aug 30.)	Prognostic impact of CD133 expression as a tumor-initiating marker in endometrial carcinogenesis.		中村 充宏	周産母子センター
141	医療薬学 2010年4月	小児と成人におけるポリコソノールの血中濃度解析の比較		伊藤さつき他11名	薬剤部
142	Biol.Pharm.Bull (2010年11月)	Protecting cisplatin-induced nephrotoxicity with cimetidine does not affect antitumor activity		宮本謙一他7名	薬剤部
143	Phytother.Res. (2011年1月)	Byakkokaninjinto prevents body water loss by increasing the expression of kidney aquaporin-2 and skin aquaporin-3 in KKAy mice		宮本謙一他12名	薬剤部
144	Evidence Based Complementary and Alternative Medicine	Preventive effect of pine bark extract(flavangenol) on metabolic disease in Western diet-loaded Tsumura Suzuki obese diabetes mice		宮本謙一他9名	薬剤部
145	Drug Metab Dispos (2010年9月)	Proton-coupled erythromycin antiport atral blood-placenta barrier		崔吉道他11名	薬剤部
146	Placenta (2010年11月)	Roles of TauT and system A in cytoprotection of rat syncytiotrophoblast cell line exposed to hypertonic		崔吉道他7名	薬剤部

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 富田 勝郎
管理担当者氏名	・消化器内科長 金子 周一 ・内分泌・代謝内科長 武田 仁勇
	・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘 ・呼吸器内科長 藤村 政樹
	・循環器内科長 山岸 正和 ・腎臓内科長 和田 隆志
	・血液内科長 中尾 眞二 ・総合診療内科長 小泉 順二
	・神経内科長 山田 正仁 ・神経科精神科長 三邊 義雄
	・小児科長 谷内江 昭宏 ・子どものこころの診療科長 棟居 俊夫
	・放射線科長 松井 修 ・放射線治療科長 高仲 強 ・皮膚科長 竹原 和彦
	・心臓血管外科長 渡邊 剛 ・呼吸器外科長 小田 誠 ・胃腸外科長 藤村 隆
	・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生 ・内分泌・総合外科長 石川 紀彦
	・乳腺副科長 井口 雅史 ・整形外科長 土屋 弘行
	・脊椎・脊髄外科長 村上 英樹 ・泌尿器科長 並木 幹夫 ・眼科長 杉山 和久
	・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一 ・産科婦人科長 井上 正樹
	・麻酔科蘇生科長 山本 健 ・脳神経外科長 濱田 潤一郎
	・核医学診療科長 絹谷 清剛 ・歯科口腔外科長 川尻 秀一
	・薬剤部長 宮本 謙一
	・総務課長 長谷川 篤志 ・経営管理課長 山崎 勝治 ・医事課長 安岡 浩憲

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		医事課	診療録は外来は1患者1ファイル、入院は1入院期間1ファイル。(電子診療録は1患者1ファイル)
		各診療科	
		看護部	
		薬剤部	
	従業者を明らかにする帳簿	総務課	
	高度医療の提供の実績	医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	開催順

9 り の 諸 記 録	第1項各号及び第9条の2第1項第1号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	開催順
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	発生順
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	発生順
		当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	開催順

		保管場所	分類方法	
病院の 管理 及び 運営 に関 する 諸 記 録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の2第1項第1号に掲げる体制の確保状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	
		院内感染のための委員会の開催状況	医事課	開催順
		従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医事課	開催順
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	発生順
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	各外来・病棟	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課	
		従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医事課	開催順
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医事課 経営管理課	発生順
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 経営管理課	発生順

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 富田 勝郎
閲覧担当者氏名	総務課長 長谷川 篤志
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	73.7%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	10,562人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,145人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	571人	
	D : 初診の患者の数	18,010人	

- (注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること</p> <p>(3) 安全管理対策のための教育及び研修に関すること</p> <p>(4) 発生した医療事故原因の分析及び改善策等に関すること</p> <p>(5) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>【平成22年度】</p> <p>医療安全研修(講演・講習)</p> <p>『クレーム対応のポイント』4/2</p> <p>『知っておきたい輸血のルール』6/7・10/4</p> <p>『気管内吸引について』7/8</p> <p>『新規フェンタニル製剤によるがん痛治療の最前線』8/2</p> <p>『医療機器関連法制度の正しい理解』9/21</p> <p>『医療事故が起きたときの対応について』12/6・12/14</p> <p>『災害時の備え』1/31・2/14</p> <p>『麻薬の？解決します』2/17</p> <p>『医療における患者からの暴言・暴力等への対応』2/28・3/2・3/8</p> <p>『医療安全の取り組みについての報告』3/11</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告等の分析結果を現場へフィードバック</p> <p><input type="checkbox"/> 医療従事者の医療事故防止に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止のための基礎知識の提供</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告書等から必要なマニュアルを作成</p> <p><input type="checkbox"/> インシデントサマリに再発防止策を提案</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止マニュアルの見直し</p> <p><input type="checkbox"/> GRM等による医療現場のラウンド</p> <p><input type="checkbox"/> 院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布</p> <p><input type="checkbox"/> 院外の事故情報の提供による注意喚起</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員: 専任(2)名 兼任(12)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <p>(1) 医療にかかる安全管理対策及び医療事故対策の企画立案に関すること</p> <p>(2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること</p> <p>(3) 安全管理のための教育及び研修企画及び運営に関すること</p> <p>(4) アクシデント及びインシデント報告の調査及び分析に関すること</p> <p>(5) リスクマネージャーとの連絡調整に関すること</p> <p>(6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認及び指導に関すること</p> <p>(7) 患者家族への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導に関すること</p> <p>(8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること</p> <p>(9) 金沢大学医療安全管理委員会に用いられる資料及び議事録の作成、その他当該委員会の事務に関すること</p> <p>(10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項 3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること (2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること (3) 院内感染についての教育活動に関すること (4) 院内感染の調査に関すること (5) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項 	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>【平成22年度】 感染対策研修(講演) 『がん治療における発熱性好中球減少症のマネジメント』 『身近なHIV感染症』 『肺炎』 『肝炎ウイルスを知る』 その他 感染対策指導 「手指衛生トレーニング」</p>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>院内感染対策チーム(HICT)の会議において、院内感染に関する問題を検討し、その改善策等を院内感染対策委員会に諮る。また、その改善策等を感染対策ニュースとして院内に周知する。</p>	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 【平成22年度】 医療安全研修(講習・講演) 『新規フェンタニル製剤によるがん痛治療の最前線』8/2 『麻薬の?解決します』2/17	年 2 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 1) 医薬品の採用 2) 医薬品情報の収集・管理・提供 3) 医薬品の購入管理 4) 薬剤部から外来入院患者への医薬品の処方・交付 5) 病棟における医薬品の管理 6) 中央診療施設、外来部門における医薬品の管理 7) 入院患者への医薬品使用等の管理・指導	年 回
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 医療安全管理部のカンファレンスにおいて、インシデント事例の報告や医薬品に関する問題提起などを受けて検討し、その改善策等を院内に周知する。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・活動の主な内容 【平成22年度】 医療安全研修(講演・講習) 『気管内吸引について』7/8 『医療機器関連法制度の正しい理解』9/21	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	年 回
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・保守点検の主な内容 ME機器管理センター、放射線部が中心となって保守点検計画を実施。 製造販売業者の添書・指導に基づく保守点検、または外部業者への委託により、動作確認や部品確認を行う。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 医療安全管理部のカンファレンスにおいて、インシデント事例の報告や医薬品に関する問題提起などを受けて検討し、その改善策等を院内に周知する。	